

「頭をガーン!」 (株)ソフトポリス 杉本 久

社会貢献などと、構えて臨むと、難しい気がしてくるし、まして、みんなで力を合わせてやろうとすると、肩に力が入ってしまったり、自分ひとりくらい参加しなくても、皆がやってくれるだろう、などと気を抜いてしまう。その点、ひとりで始めるのは、自分さへその気になれば意外と簡単だ。とは言っても、その気になれるかどうかだ。

ずっと以前の、ある正月の新春講演会するとき、今でも時々テレビに出演している、あるコメンテーターがこんな話をした。日本から離れ、アメリカに住んでいるとき、現地の友人が「今度、パーティーがあり、ぜひ君をみんなに紹介するから、経歴を書いてきて」と言われた。彼は日本の有名大学を卒業し、さらにアメリカの大学をも卒業し、著書もいくつか著した。そのことを含め、多少、自慢そうに差し出した。そしたらアメリカの友人はそれを見て「なんだこれは、ボランティア活動というものを、なにひとつ、してないじゃないか。これじゃ恥ずかしくて紹介できないよ」と言われた。彼はガーンと頭を殴られたようなショックだったそうだ。

この話を帰国後の講演会で話した。それを聴いて私もガーンと頭を殴られた気がした。私だって、今まで何もしてこなかったわけじゃない。一応は日本のビジネス戦士のひとりだ。日本経済の担い手のひとりだ。会社経営も立派な貢献だ。などと、粹がっていた自分が恥ずかしくなった。50歳にもなって、自分のことしかやってこなかったじゃないか。

・・・それからは自分のできる範囲内で、いろいろと当たってみた。まず東京中央区の手話教室に通い、手話の勉強をした。新しい仲間も増え、実際の聾啞者とも片言でコミュニケーションをした。あるとき、全国障害者大会が開催され、日比谷公園から国会議事堂までパレードすることになり、その行程に障害者が使えるトイレや電話を調査して、地図に書き込むのだ。私は出発地周辺の大企業を訪問し、車椅子で入れるトイレを調査した。その当時は驚くほど少なかったのを覚えている。

大阪にマザーネットという会社があり、その社長自らが企画して、毎年、少年たちを信州の高遠町に連れてゆく。高遠町には「国立少年自然の家」というのがあり、そこへ大阪と東京の少年たち20名以上を、3日～4日ほどの泊り込みで面倒見る。私も引率ボランティアとして、もう三年間ほど活躍している。諏訪湖の水質検査、カヌー体験、陶芸教室、山小屋作り、買い物ゲームなど、学校で出来ない体験を子供たちにしてもらおう。皆さんたちの子供さんも参加できますので、興味あれば問い合わせください。

東京池袋に、知的障害者の職業訓練をする「NPO まめの樹」があり、私はそのビジネスマナー講師である。清掃や介護訓練を終えた障害者たちが社会に進出したときに、挨拶や礼儀を知らないと、長続きしない。すると障害者たちは働きを失くし、自活できなくなる。それを支えてあげなくてはならない。

ユーオスグループの社会貢献委員会で、皆さんから中古 PC を寄付して頂き、それをリユース PC として再生する工場にも、障害者たちが働いている。だからリユース PC 活動は意義ある社会貢献なのだ。

その他にも、群馬県内で武道の指導をしており、空手教室は 15 年間の活動を終え、後輩に引き継いだ。今は、合気道指導をすでに 20 年以上続けている。

毎日仕事が忙しいので、社会に貢献できないという人たちはたくさんいる。だがそれは、忙しいことを言い訳にして行動に移してないだけだ。ガーンと頭に響いた人は、その気になれば、個人ならいくらでも貢献の機会は転がっている。ただ個人の力は小さいので、こつこつとやるしかない。

個人の力は小さくとも、それがまとまると大きな力となるのは、誰でもわかる。ユーオス会員の一社の技術者は少なくとも、グループとして数えれば、数千人の技術者集団となるではないか。

今年の社会貢献委員会は、新しく WCG に参加した。

私もさっそくこれに登録したら、やがて WCG からレポートがきた。

「Help Cure Muscular Dystrophy Announcement

Dear uossugimoto,

World Community Grid is pleased to announce that Phase 1 of the Help Cure Muscular Dystrophy (HCMD) project is coming to a close.以下略・・・」私の名前の前に UOS と入っている。筋ジストロフィ・プロジェクトへの貢献だ。これこそ手持ちの PC での簡単な登録で、全世界に貢献できる、まさにグループにぴったりの社会貢献だ。

目の前の PC の、アイドルリングタイムの隙間に貢献できる簡単なことだ。各支部で説明を受けたと思うが、もう一度その意を汲んで、参加して頂きたい。

知的障害者向け「ビジネスマナー講座」
思わず机の上に座り込んでしまった。

